

あわれみの意味

「あわれみ」ってことばを日本語辞典で調べるとかわいそうに思う心とあります。でも聖書のいうあわれみは、恵み、愛、親切、誠実、いつくしみの意味があります。あわれみということばは神様の姿、働き本質を表す言葉です。私たちにはいつも神様のあわれみがあります。罪人である私たちに対していつみ忍耐強くあられ、その愛と恵みが永遠につきないことは本当に感謝なことです。また聖書のいうあわれみは相手の立場になって行動するという事です。思うだけではなくその思いを行動にしていくということ。神様の最大のあわれみ。それは聖書のいうあわれみが、相手の立場になるという意味があるように、この地上に人となって罪人の私たちのところに來られたことです。(ヘブル2:16-18) 私たちの苦しみを知り痛みを知り共に生きてくださる。そして私たちの罪のために十字架にかかってくださった。私たちの罪を赦しその愛を私たちに示してくださいました。これこそ真のあわれみのわざです。

天の父があわれみ深いように

マタイの18章23-25節の王様としもべの借金のたとえは私たちと神様の関係です。私たちクリスチャンは自分では到底返せない罪の負債を、神様に赦してもらった。神様のあわれみによって今があります。そして神様からあわれみを受けた者は、自分以外の人にもあわれみを示すようにとイエス様は言われます。ルカ6章36節でイエス様は、こう言われました。「あなたがたの天の父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くしなさい。」神のあわれみ、イエス様のあわれみの深さを知って初めて私たちは人にあわれみ深い者となることができます。まず神と私のつながりが大切です。そして神からあわれみを受けた人から、人へとつながっていく。神様のあわれみのわざが私たちを通して広がっていくんです。

あわれみを受けるから

受けて、初めて分かる感動があります。与えてみて分かる喜びがあります。行動しないと伝わらない愛があります。私たちが人のために生きるなら、私たちはその人と共に主の幸いを知ることとなります。

そして神様の深いあわれみを何度も確認しまた受けることとなります。私たちはこのあわれみの循環の中に入れられたいと願います。私たちのためにいのちまで捨てられたその大きなキリストのあわれみを私たちがしっかりと理解し、キリストがなされたようにあわれみ深い者として成長させていただきたいと願います。神様のあわれみを受け、悲しむ人とともに悲しみ、苦しむ人と共に苦しむ。そのようなあわれみに溢れた幸いな交わりを教会でもまた私たちと関わる人たちの間で築いていくことができるように、聖霊なる神様に造り変えていただきたいと願います。私たちはあわれみを受け、またあわれみを与える者として神様から召されています。